

## マーケットの動き（2022年1月24日～1月28日）

先週の為替市場は、米ドルは対円で上昇（円安）しました。FOMC（米国連邦公開市場委員会）後の会見におけるパウエル議長の発言が、市場の想定より金融引き締めに積極的だったことを受け、日米金利差の拡大を見込んだ米ドルの買いが優勢となりました。ユーロは、対円、対米ドルともに下落しました。

## 投資環境見通し（2022年1月）

## 円に対して、米ドル、ユーロともに緩やかに上昇

**米ドル**：米国では、量的緩和縮小や将来の利上げペースの加速に加えて、FRB（米国連邦準備制度理事会）のバランスシート縮小を議論する姿勢も示されており、金融政策を巡る先行き不透明感が残っています。しかし、こうした中でも経済活動正常化が進展し景気回復が続くとみられることから、米ドルは円に対して当面は方向感に欠ける動きになるとみられますが、次第に緩やかに上昇するとみています。

**ユーロ**：ECB（欧州中央銀行）による利上げ開始はまだ先との見方が広がる中、欧州地域における新型コロナウイルス感染再拡大もあり、ユーロは短期的に下押すとみられます。その後はインフレ動向に注目しつつ長期金利は上昇しやすくとみられることから、ユーロは円に対して緩やかに上昇するとみています。

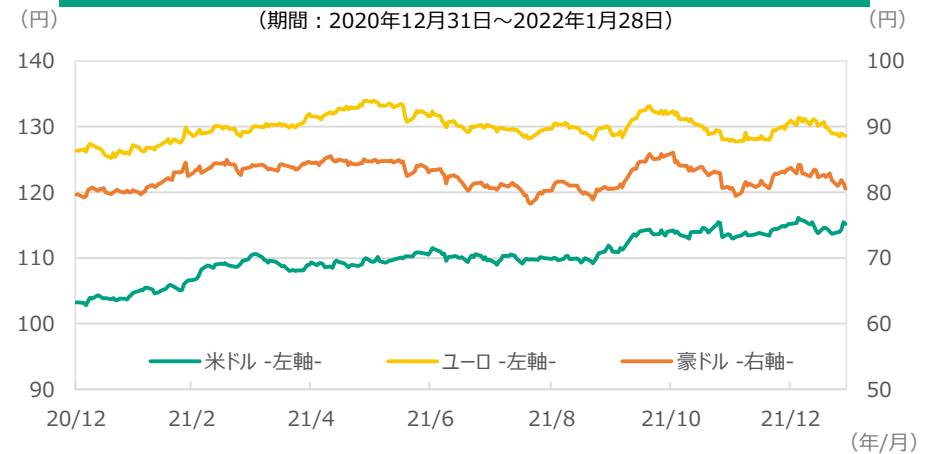
	1月28日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	115.18	1.52	0.42	5.07	10.87
ユーロ/円	128.60	▲0.37	▲1.04	▲1.32	2.15

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

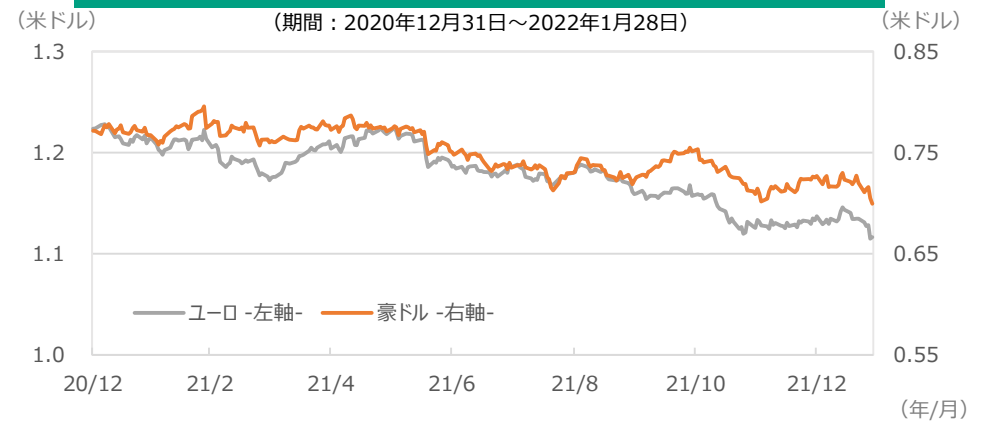
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202201\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202201_outlook.pdf)

## 為替レートの推移（対日本円）



## 為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>